



つむぐつつなぐ

読書の絆

(特集・読書離れ―関連記事2〜7ページ)

主な内容	特集・読書離れ.....	2～7	村教育振興運動集約集会.....	6
	村民読書の日.....	4	村長選挙は4月10日.....	8
	村地域子ども読書会.....	5	村舞踊研究会が40周年.....	20

危機！

読書離れ！！

特集・読書離れ（2〜7ページ）

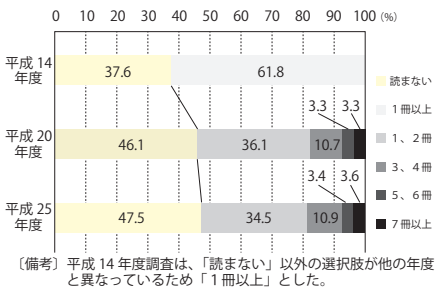
携帯電話やスマートフォンなどが普及し、情報をすぐに入手できる便利な社会。高度情報社会の現代において、読書離れが叫ばれているが現状はどうなっているだろうか。

48%が本を読まない

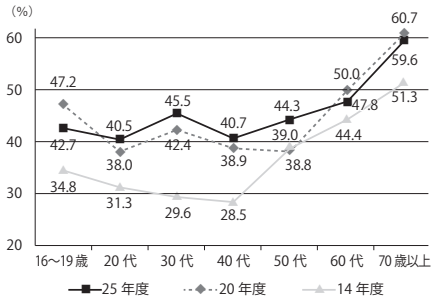
文化庁が調査している「国語に関する世論調査」の結果を基に検証してみました。

1カ月に読む本の冊数（表①）について見てみると、1冊も本を読まない人は平

表①【1カ月に読む本の冊数】

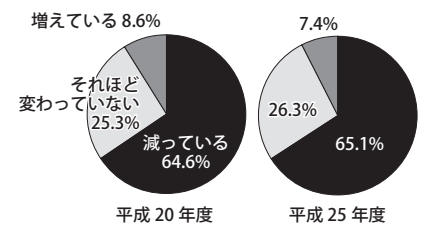


表②【1カ月に本を1冊も読まない】



成14年度の37・6%に対して、平成25年度は47・5%となり9・9ポイント上昇しています。1カ月に本を1冊も読まない人の割合を年齢別（表②）に見てみると、1冊も読まない人の割合は16〜19

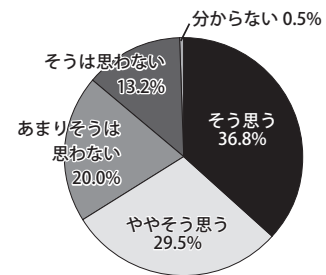
表③【読書量は以前に比べて減っているか、増えているか】



6割以上が読書量減

読書量の変化（表③）について見てみると、平成25年度では読書量が減っていると答えた人は65・1%と最も高く、増えていると回答した人は7・4%にとどまっています。平成20年度と平成25年度を比較すると大きな変化は見られないが、読書量が減少していると感じている人の割合は高く

表④【読書量を増やしたいと思うか】



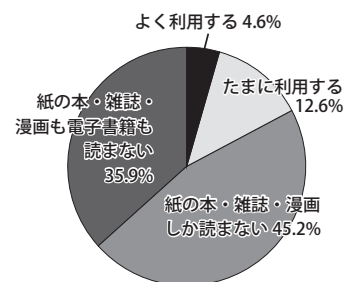
なっています。

今後、自分の読書量を増やしたいと思うか（表④）については、思うと答えた人は66・3%と高く、思わないと答えた人は33・2%にとどまっています。表③と表④から分かるように、読書量を増やしたいと思っている人は多いが、読書量が減っていると感じている人も多いのが現状です。

電子書籍は17%

電子書籍を利用しているか（表⑤）については、電子書籍を利用する人は17・3%となっており、紙の本・雑誌・漫画しか読まない人の割合は45・2%と高

表⑤【電子書籍を利用しているか】



読書離れが進む

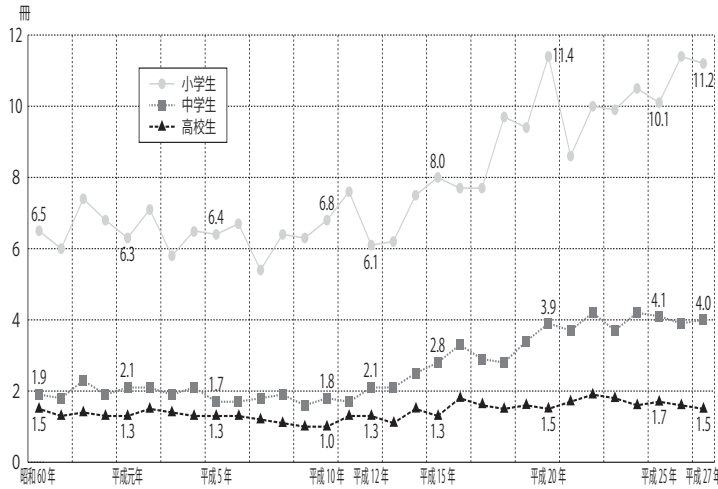
これらの調査結果から分かるように、読書量が以前よりも減少し読書をしない人も増え、読書離れが進んでいることが分かります。読書量を増やしたいと思っている人が多い中、読書量が減っているのは、仕事や勉強が忙しく時間が取れないことや、情報機器で時間が取られるなどの理由が挙げられています。

小中高の読書離れは？

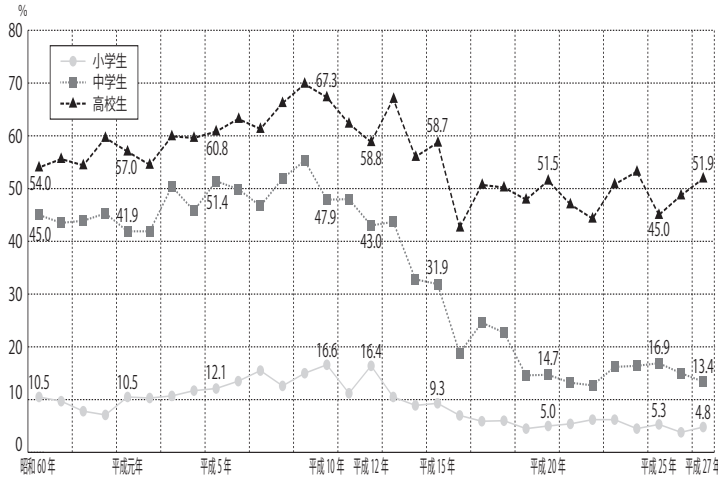
全国的に読書離れが叫ばれているが、子どもたちの読書環境はどうなっているだろうか。

全国学校図書館協議会と毎日新聞社が毎年、全国の小・中・高等学校の児童生徒を対象に行っている、「学校読書調査」の結果を基に検証してみました。

表⑥【1カ月間の平均読書冊数】



表⑦【1カ月間の不読者の割合】



小中学生読書冊数 15年間で2倍に増

該当生徒における1カ月間の平均読書冊数(表⑥)を見てみると小学生・中学生・高校生とも平成12年前後までほぼ横ばいとなっています。それ以降は、本離れどころかむしろ増加傾向

にあります。

特に小学生において増加傾向は著しく、直近の平成27年では11・2冊で平成12年の6・1冊に比べ、2倍に迫る勢いで増加しています。中学生においても同じ傾向が見られ、2倍弱となっています。高校生においては31年間、横ばいの結果です。平成12年前後から小中学生において増加傾向にあるのは、いくつかの理由があるとされています。最大の

要因は昭和63年に船橋学園女子高等学校(現・東葉高等学校)で実践が始まった「朝の10分間読書」運動が要因であるという説が有力とされています。

本村においても村内の全小中学校では、読書をする時間を設けて、本に親しむ時間を確保するように取り組んでいます。

読書をしない中学生 15年で30ポイント減

1カ月間の不読者(読んだ本が0冊の生徒)の割合(表⑦)を見てみると、1カ月間読書をしていない子どもも平成12年前後から減少の動きに転じています。

小学生においては平成12年が16・4%に対して、平成27年は4・8%と減少し、11・6ポイントの減少となっています。

中学生においても平成12年の43・0%に対して、平成27年は13・4%まで減少し、29・6ポイントの大幅な減少となっています。一方、高校生においては

平成12年の58・8%に対し、平成27年は51・9%となり、6・9ポイント減と小幅な減少となっています。

小・中学生の読書 15年で定着化進む

この表⑥、表⑦の調査結果から、読書冊数は小学生が特に増加しているが、読書をしていない子どもの割合は、中学生が著しく減少していることが読み取れます。このことから、平成12年以降においては小中学生の読書の定着化が図られてきているが、高校生においては本への親しみが薄いという結果が表れています。

全国的に読書離れが叫ばれているが、小・中・高校生の読書離れは教育関係者などの努力が身を結び、むしろ読書をする習慣が身に付いてきている実態が明らかになっていきます。

《参考文献》●国語に関する世論調査(文化庁) ●学校読書調査(全国学校図書館協議会・毎日新聞社)

読書で磨く表現力や思いやり

読書の日を村で設定

昨年度から始まった村民読書の日。村教育委員会では、県の読書週間に併せて村民読書の日を設定し、読書に親しむ機会を設け、読書活動の推進を図っています。



村長賞の谷地海希風さん



教育委員長賞の桂川さえさん

今年の村民読書の日は2月7日に設定され、最初に村民読書感想文コンクールの表彰式がH O Zホールで行われました。応募50点の中から入賞した19名に、表彰状などが贈呈されました。村長賞と教育委員長賞に輝いた、谷地海希風さんと桂川さえさんがステージで読書感想文を発表しました。

続いて、K O T O S E 音読教室の主宰・佐藤くみこ氏を講師に招いて「伝わる喜び！個性が生きる読み聞かせのために」をテーマに、講演会および読み聞かせ研究会が行われました。佐藤氏は音読すると、①表現力が磨かれる②読解力がつく③思いやりの気持ち

が育つーなどが期待できると話していました。

その後は、参加者も一緒に音読の練習。桃太郎の昔話を使って、参加者一人一人が句点の所まで音読したり、チェック音読（指定された50音を読むときには一緒に手をたたく）などをしたりして練習しました。

最後には指名された11人がステージに上がり、桃太郎を朗読。割り当てられた登場人物のセリフを、設定された役柄になりきって朗読を披露しました。

このように村でも、村民が本に親しむを持つ機会を増やそうと村を挙げて取り組んでいます。

読書感想文コンクール入賞者

賞	氏名	学校名・学年	
村長賞	谷地 海希風	戸田小 5	
	桂川 さえ	伊保内高 2	
優秀賞	林 勇希	江刺家小 1	
	釜石 琉禾	山根小 4	
入選	村田 麗奈	九戸中 2	
	千葉 詢子	伊保内小 1	
	秋元 海洲	江刺家小 4	
	山本 志道	戸田小 4	
	和田 知磨	伊保内小 5	
	秋元 星良	伊保内高 1	
	大下 美輝	九戸中 3	
	佳作	坂本 梨央	長興寺小 1
		大石 絆奈	伊保内小 2
		和田 心花	山根小 3
齋藤 碧音		戸田小 6	
山地 夢久		山根小 6	
澤口 悠聖		伊保内小 6	
本堂 晴夏		伊保内高 2	
大崎 莉奈		九戸中 3	



大きなスクリーンで楽しんだ子ども映画会

大画面で映画を楽しむ

開発センター2階では、講演・研修会と並行して子ども映画会を開催。みんなで読書わくわく大作戦の一環で、子ども向けの映画4作品が上映されました。子どもや親子が参加し、まんが世界昔ばなしなどの作品を、大きなスクリーンで楽しんでいます。

おすすめ図書の本場を設置

読書の日に合わせて、読み聞かせグループ「やまびこ」の皆さんが選んだおすすめ図書が、公民館2階コミュニティホールに設置されました。東日本大震災をテーマにした本や、0歳児のための読み聞かせ向けの本などが並べられました。また幼児や小学生、中学生や一般向けなど年代別に分けられたコーナーも設置され、参加者は並べられた本を手に取り興味深そうに見ていました。



公民館に特設された「やまびこ」の皆さんが選んだおすすめ図書のコーナー



戸田地区の児童や園児と一緒に楽しんだ、だるまさんが転んだ



生徒が作ったお面をかぶり、小学生へ読み聞かせをする伊保内高等学校の生徒

地域子ども読書会

村地域子ども読書会が1月6日と7日に村内16会場で開かれました。伊保内高等学校の生徒が各地区に出向き、村内小学生に読み聞かせをするというこの活動は、昭和55年から始まり今年

読書の心と地域の和を育む

で36回目。今回は1・2年生84名が参加し、小学生たちと交流を楽しみました。今年の読み聞かせの題材は、宮沢賢治作の「祭りの晩」。生徒自ら作ったお面などを使い、工夫して朗読していました。

6日、荒田集落センターにおいては高校生7名と地元小学生23名が参加。小学生をグループ毎に分け、紙芝居や絵本の読み聞かせをしていました。トランプでもグループに分かれて工夫して行われ、小学生との交流を楽しんでいました。

村老人福祉センターでは、高校生6名と地元小学生35名が参加。紙芝居や九戸を題材にしたかるた取り、だるまさんが転んだなどで触れ合いを堪能していました。「大根抜きゲーム」では、大広間いっぱい歓声が響き渡るほど、スキンシップを

高校生と小学生が一緒に楽しんだハンカチ落とし



満喫していました。

亀梨剛君（戸田小4年）は「本を間違わないで読んでいてすごいと思った」と感心していました。小澤雅史君（伊保内高2年）は「子どもたちも笑顔で自分たちも楽しめて良かった」と満足そうでした。

伝統あるこの読書会の活動もすつかり地域に定着し、世代間交流の一翼を担っています。この読書会が子どもたちの読書への親しみを育むとともに、コミュニケーション能力の向上などさまざまな効果が期待されます。

大根抜きゲームで触れ合いを満喫



パバは誰が持っているかな？トランプでパバ抜き



昭和40年から岩手県で始まった教育振興運動。本村でもその頃から取り組み始め、子ども・親・学校・地域・行政の5者が連携を図りながら、教育振興運動を進めてきました。

本年度の村教育振興運動集約集会は1月24日、HOZホールで開かれました。村内の小中学校・高校PTA会員や教職員、一般村民など約150名が集まり、児童生徒の学力向上について理解を深めました。



事例発表をした九戸中学校(左)と戸田小学校(右)

記念講演では県教育委員会学校教育室の佐々木淳一指導主事が、「情報メディアとのお上手な付き合い方」について講演。佐々木氏は「情報モラルを考え、掲示板やメールなどで

知恵や心を磨き危険を回避 みんなで教振！

中傷されたら、冷静になり一人で悩まず相談することが大切」と解説しました。

さらに、「これからは情報モラル教育が必要である。情報の安全性を理解し知恵を磨くことと、情報倫理を守り心を磨くことが大切。知恵や心を磨くことで

危険を回避することができます」と強調していました。

その後、実践事例発表では2団体が発表。九戸中学校実践区では地区懇談会を各学年懇談会に変更し、出

席率が大幅に上がったことを報告。「家庭・学校・地域で育てよう九戸中生」を合言葉に、年2回早朝親子奉仕作業に取り組んでいることなどを紹介しました。

戸田小学校実践区では就志森に全校で登山していることやかんじき体験、南部箒作り体験をしていることを紹介。地域資源を生かした活動に取り組み、学ぶ力や生き抜く力を育むことを目指していると発表しました。

参加者はこれからの教育に役立てようと、講演や発表に耳を傾けていました。また、村の教育振興に功労された皆さんへの表彰も行われ、受賞者を紹介します。(敬称略)

◆教育振興運動功労者表彰
古館 護(伊保内小)
玉川育子(長興寺小)
林 弘昭(九戸中)

◆PTA連合会功労者表彰
中道正人(伊保内小)
滝 修一(同)
高崎達也(長興寺小)
道地 勇(江刺家小)
山谷直樹(九戸中)

地域を挙げて教育振興

学力日本一の村から学ぶ

1月13日、HOZホールにおいて教育文化講演会が開かれました。この講演会

は、伊保内高等学校が昨年度から2年間、文部科学省から指定を受けて実施したもの。今回は、秋田県東成瀬村で教育長を務めている鶴飼孝氏が、「子どもの成長と地域社会」について講演しました。

人口が約2700人と小さい村である東成瀬村は、学力日本一の村として知ら



学力日本一を実現している教育方法を紹介する鶴飼氏(左)

れており、国内外から注目され、視察が絶えないと言います。

小学校・中学校とも1校ずつしかない東成瀬村では、「1クラス2人の先生を配置し、子どもとのコミュニケーションを大切に教育をしている」と説明。

役場で学習塾を運営しており、小中学校では宿題は出さず、自主学習ができるように指導しているとのこと。地域と共に教育に取り組む、PTA参観は参加率が120%にも及ぶことを紹介しました。

また、「授業はバレーボール型で進め、仲間と関わながら学習できるよう工夫し、共に学び合う教育を実践している」と話していました。

最後に鶴飼氏は、「子どもの成長に与える地域社会の影響はかなり大きく、地域を挙げて教育に取り組み、学力日本一の村が実現している」と話していました。



岩渕 信義校長

地域子ども読書会

本校・伊保内高等学校の「地域子ども読書会」

は昭和55年、八重樫哲教諭の発案によってその産声を上げ、以来とぎれることなく今日まで続いてきました。平成12年度には読書推進事業優秀実践校として、文部大臣（現文部科学大臣）表彰を受賞するなど、県内外から数多くの賞を受賞してきました。

今日、この活動は本校を代表する活動として広く知られています。幼少時における読み聞かせや世代間交流、コミュニケーションの重要性が当たり前になってきている今を思うと、本校の活動に時代がやっとな追いついてきたともいえます。実は、この先見性も地域子ども読書会の誇るべき一面でもあるのです。

読み聞かせグループ「やまびこ」



読み聞かせグループ「やまびこ」の皆さん

読み聞かせグループ「やまびこ」は平成16年8月に結成。現在は10名で読み聞かせの活動をしています。地域のために何かやりたいという思いでグループを設立。本を読む子どもたちが増えることを願い、読み聞かせを始めました。現在は各小学校で月1、2回の読み聞かせや、村公民館

で2カ月に1回、また、保育所やグループホームでの読み聞かせなどを行っています。子どもたちの心が広がることを願いながら活動していますが、最近では自分たちの元気のもとにもなっているのではないかと感じています。これからも、無理せず村内の明るく元気な子どもたちと一緒に、楽しく活動していきたいと思えます。

一冊の本を傍らに

～村公民館図書室へどうぞ～



漆原 一三教育長

笑顔いっぱいなのやまびこボランティアの読み聞かせを、3・4カ月の乳児が目を輝かせて見つめています。そのわが子の姿を驚きの目で親が見ています。昨年9月から始めたブックスタート事業の一コマです。とても幸せな気持ちを感じ、読書の時です。

絵本を読んで、難しい顔をする人はいません。絵本は読書のスタートと学びの始まりです。

人生の中で絵本を読むべき機会は、3回あるといえます。1回目は子どもが生まれる時、2回目は自分が人生の後半に入った時であり、人生と重ねて読む絵本に新たな発見を見出すといえます。県では、

子どもたちに家読を進めています。子どもに本を読んであげる親。子どもに本を読む時間を作ってあげる家族。子どもに本を読んでみる姿を見せる親。本を通じた温かい家庭の様子を思い描きます。人生の喜びの時、怒りの時、哀しみの時、楽しい時に一冊の本で同じような追体験ができたならば、その人の人生は豊かになり、人生の深堀りができるような気がします。いつも一冊の本を傍らに置き、読書を通して自分を鍛え、自分をつくり、自分の世界を広げてみませんか。

九戸村長選挙

投票日時：4月10日(日)

午前7時～午後7時

投票できる人

次の2つの要件を満たしている人が投票できます。

- ①平成8年4月11日以前に生まれた人(投票日時点で満20歳以上の人)
- ②平成28年1月4日以前に本村に住民登録をして引き続き村内に住み、村の選挙人名簿に登録されている人

※村外に転出すると選挙権を失い、投票できません。

▼選挙人名簿の縦覧

新たに選挙人名簿に登録された人の氏名などを確認することができます。

- 期日 4月5日(火)
午前8時30分～午後5時
- 場所 村選挙管理委員会
事務局(役場4階)

投票は午後7時まで

投票時間は午前7時から午後7時までです。投票所の場所は入場券に記載されています。投票時に入場券を忘れずにお持ちください。

投票所では、投票用紙に自分の選びたい「候補者一人の氏名」を書いて投票してください。

▼入場券は4月5日に郵送
投票所入場券は4月5日に郵送します。

入場券が届かないときには、村選挙管理委員会に問い合わせください。入場券を紛失した場合でも、有権者であることが確認できれば投票できますので、申し出てください。

4月6日から期日前

投票日に仕事や冠婚葬祭

任期満了による九戸村長選挙は、4月5日に告示され4月10日に投票が行われます。村長選挙は、これから4年間の村政を担う代表者を選ぶ大切な選挙です。皆さんの投票が、これからの九戸村を方向付けます。棄権することなく、自分の判断で責任ある一票を投じましょう。

などの予定のあるとき、用事があり投票区の区域外に旅行や滞在が見込まれると

きなどは、期日前投票をすることが出来ます。

○期間 4月6日(水)～9日(土)

○時間 午前8時30分～午後8時

○場所 村選挙管理委員会
事務局(役場4階)

※エレベーターもあります

不在者投票あります

次の方法で、不在者投票ができます。投票のできる期間と理由は、期日前投票と同じです。

- ①仕事や旅行などで村外に滞在しているときは、滞在先の市区町村の選挙管理委員会で行う。
- ②不在者投票ができる病院

などに入院・入所しているときは、その施設で行う。

③一定の障害等級の身体障害者手帳や戦傷病者手帳を交付されている人、要介護5の人が郵便などで行う。

不在者投票は、事前手続きに日数を必要とします。

また、不在者投票用紙などの請求手続きは、選挙期日の告示日(4月5日)前でも行うことができますので、村選挙管理委員会に問い合わせ

わせの上、早めに手続きを行ってください。

開票は村公民館で

○日時 4月10日(日)
午後8時開始

○場所 村公民館

※開票の参観ができます

【問い合わせ】
村選挙管理委員会(☎42-2111内線182)

立候補を予定している人へ

○立候補届出等説明会

当日は、立候補届出用紙などの配布も併せて行います。

日時：3月14日(月) 午後1時30分

場所：役場3階 第2会議室

※出席は、1立候補予定者につき2人以上でお願いします。

○立候補届出書類の事前審査

日時：3月28日(月) 午後1時30分

場所：役場3階 第2会議室

○立候補届出の受け付け

日時：4月5日(火)

午前8時30分～午後5時

場所：役場3階 第2会議室

皆さんの大切な一票を投票しましょう
(写真は昨年の村議会議員選挙)



平成 28 年度から軽自動車税の税額が変わります

地方税法の改正に伴い、平成 28 年度から軽自動車税の税額が変わります。
車両の種類や最初の新規登録年月によって、適用される税額が異なります。



◎原動機付自転車および二輪車など

原動機付自転車や二輪車などは、平成 28 年度から「①改正年額」が適用されます。

区 分		現行年額	①改正年額 平成 28 年度から
原動機付自転車	50cc 以下	1,000 円	2,000 円
	50cc 超～90cc 以下	1,200 円	2,000 円
	90cc 超～125cc 以下	1,600 円	2,400 円
	ミニカー	2,500 円	3,700 円
軽二輪（125cc 超～250cc 以下）		2,400 円	3,600 円
二輪の小型車（250cc 超）		4,000 円	6,000 円
小型特殊自動車	農耕作業用	1,600 円	2,400 円
	その他（フォークリフトなど）	4,700 円	5,900 円
雪上車		2,400 円	3,600 円

◎軽三輪・軽四輪以上

平成 27 年 4 月 1 日以降に新規登録された車両は、平成 28 年度から「③改正年額」が適用されます。
新規登録から 13 年が経過した車両は、平成 28 年度から「④重課税額」が適用されます。

区 分			②現行年額 平成 27 年 3 月 31 日までに 新規登録した車両に適用	③改正年額 平成 27 年 4 月 1 日以降に新 規登録した車両に適用	④重課税額 新規登録から 13 年が経過した車両 に対して、平成 28 年度から適用
軽 三 輪			3,100 円	3,900 円	4,600 円
軽 四 輪 以上	乗 用	営業用	5,500 円	6,900 円	8,200 円
		自家用	7,200 円	10,800 円	12,900 円
	貨 物	営業用	3,000 円	3,800 円	4,500 円
		自家用	4,000 円	5,000 円	6,000 円

◎軽自動車のグリーン化特例

平成 28 年度課税時に、三輪および四輪の軽自動車で、下記の⑤～⑦に該当するものは、グリーン化特例（軽課）が適用されます。

区 分			⑤改正年額	⑥改正年額	⑦改正年額
軽 三 輪			1,000 円	2,000 円	3,000 円
軽 四 輪 以上	乗 用	営業用	1,800 円	3,500 円	5,200 円
		自家用	2,700 円	5,400 円	8,100 円
	貨 物	営業用	1,000 円	1,900 円	2,900 円
		自家用	1,300 円	2,500 円	3,800 円

⑤電気自動車・天然ガス軽自動車：平成 21 年排出ガス 10%低減

⑥乗用：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 32 年度燃費基準+ 20%達成車
貨物：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 27 年度燃費基準+ 35%達成車

⑦乗用：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 32 年度燃費基準達成車

貨物：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 27 年度燃費基準+ 15%達成車

■問い合わせ 税務会計課税務徴収班（☎ 42-2111 内線 233）

m u r a n o w a d a i むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

2月3日、戸田保育園で豆まき会 おこりんぼう鬼をやっつけた

2月3日、村内幼保施設において節分行事が行われました。戸田保育園では全園児40名が参加しての豆まき会。園児たちがホールに集まり、自分の体の中に潜んでいる「おこりんぼう鬼やきかんぼう鬼を退治します」と一人一人が発表しました。その後、園児たちが歌やダンスを楽しんでいると、窓から突然鬼がホールに侵入。園児たちは元気な声で「鬼は一外、福は一内」と、豆の代わりに新聞紙で作ったボールを鬼に投げつけていました。泣き出してしまう園児もありましたが、西野陽翔君（5歳）は「鬼は怖かったけど、きかんぼう鬼をやっつけたよ」と教えてくれました。



豆（新聞紙のボール）をまいて、赤鬼と自分の中の悪い鬼をやっつけました



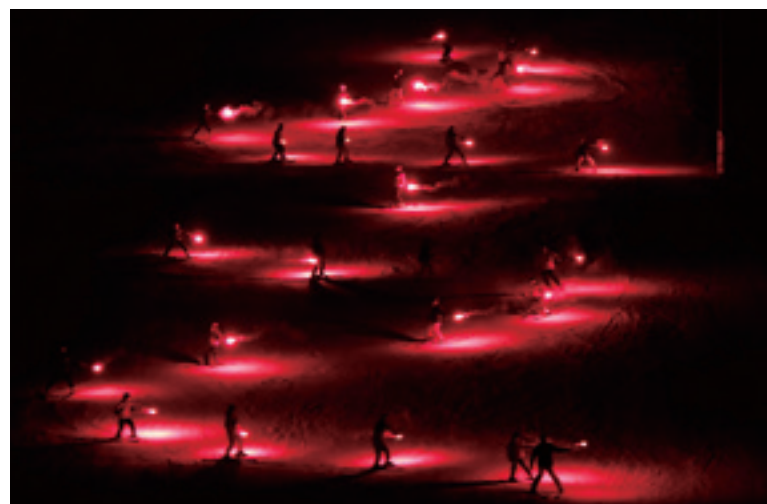
自分の年齢と同じ数のいり豆を食べ、元気な成長を願いました



手作りの鬼のお面をかぶり、音楽に合わせてダンスを楽しむ園児

くのへスキー場でナイター感謝デー たいまつはるとの光 ゲレンデに輝く

村営くのへスキー場で2月6日、ナイター感謝デーが行われました。この日のナイター営業は日頃のご愛顧を感謝し、リフト・ロープトウが無料開放。友達と一緒にスキーやスノーボードを楽しんだり、親子でそり遊びをしたりと夜のゲレンデを満喫していました。スノーモービルの乗車体験では、闇夜の中を風切り走るスリルある快走に、参加者の歓声がゲレンデに響いていました。営業終了後には約20名によるたいまつ滑走。暗闇のゲレンデに、赤く光るたいまつはるとの光が幻想的に輝いていました。



夜のゲレンデで幻想的に輝く、たいまつはるとの光



暴力団排除の協定を交わす五枚橋久夫村長（右から3番目）と二戸警察署小野寺啓泰署長（左から3番目）

警察署と暴力団排除の協定を調印 暴力団から安心生活を守る

「九戸村からの暴力団排除に関する協定書」調印式が2月3日、関係者が出席し役場村長室で行われました。

1月1日から施行された村暴力団排除条例の実効性を確保するため、村と二戸警察署が協定を締結。村と取り引きを行う相手方などが暴力団と関わりがあるかどうかの情報提供など、暴力団排除のために両者が緊密な連携を図ることが定められています。五枚橋久夫村長は「暴力団から村民の生活を守る土台とし、連携を強化して安全・安心な村づくりをさらに進めたい」と気持ちを引き締めていました。



かんじきを履いて雪上を元気に駆け出す児童たち

戸田小でかんじき体験 白銀にこだます歓声

戸田小学校で2月8日、かんじき体験が行われました。村山友会の協力を得て、全校児童58名がかんじきを履いて雪上散歩を体験。児童たちは「楽しい〜。気持ちいい〜」と歓声を上げながら楽しんでいました。自ら雪の上にダイブしたり、喜んで駆け回ったりと大自然を満喫していました。

2、3m上にある丘の上からは、お尻を着いてのケツゾリ。大きくジャンプしたり、友だちと一緒に滑り降りたりと白銀の世界を堪能していました。山本大稀君(2年)は「転んでばかりいたけど楽しかった。次回は転ばないように頑張りたい」と喜んでいました。



突然ホールに侵入してきた赤鬼に向けて



悪い鬼を退治しようと、男女に分かれて豆まきの練習



素早く反応し、カルタを取る山根小の児童たち

ふるさと山根カルタ大会 郷土を思い交流楽しむ

山根小学校PTAが主催する、ふるさと山根カルタ大会は1月26日に山根集落センターで行われました。今年で9回目を迎える大会には、山根小全校児童23名と山根地区の祖父母など約20名が参加。6つのグループに分かれて九戸カルタを行い、郷土に思いをはせながら世代を超えて交流を深めました。上の句が読まれると児童たちは素早く反応し、カルタを取っていました。久保田瑠^{りゅうせい}君(4年)は「3試合とも全部勝って良かった。祖父母と遊ぶことができて楽しかった」と喜んでいました。

村づくり推進のつどい 花であふれる輝く村へ

村づくり推進のつどいは1月31日、多くの村民が集まりHOZホールで開かれました。村花いっぱいコンクールで入賞した5団体へ表彰状が贈呈され、3年連続で最優秀賞に輝いた戸田館の下地区の馬場茂さんが「国体に向けて花をいっぱい作り、小さくてもキラリと輝く村を目指してほしい」と発表しました。その後は、六戸町メイプルタウンフェスタ実行委員の吉田みちる氏による講演。吉田氏は「ピンチはチャンスととらえ、目標を持って取り組み、期限・方法を決めて行動に移してほしい」と提言していました。



元氣な村づくりについて吉田みちる氏(右上)の講演を聞く参加者

大崎トシさん 99歳 家族へ感謝



白寿を祝福される
大崎トシさん（前列中）

大崎トシさん（長興寺上）

が2月10日、99歳の誕生日を迎え、五枚橋久夫村長が自宅を訪ねし祝福しました。長生きの秘けつは「自分の好きなことをして、家族と楽しく暮らすこと」と大崎さん。昨夏にはピーマンのヘタ切りを手伝い、草取りに汗を流したとのこと。大崎さんは「良い家族に恵まれて本当にありがたい」と、家族へ感謝の気持ちを表していました。

健やかな成長願う

1月6日、村老人福祉センターにおいて新春ふれあい餅つき大会が行われました。戸田元村自治会が主催するこの大会に、園児から高齢者まで多くの地区民が参加。戸田保育園の園児も手伝い、きねと臼で餅をつきました。園児たちは掛け声を掛けながら力いっぱいきねを振り下ろしていました。その後、ミズキ団子作りを行い、自分たちの健やかな成長を願いました。



力いっぱいきねを振り下ろし、餅をつく戸田保育園の園児

銀世界で深める絆。

戸の兄弟まちスキー交流会が1月23日、村営くのへスキー場で開かれまして。本村と六戸町が交流を深めようと、夏はキャンプ、冬はスキーで毎年交流を深めています。

平成6年から始まった交流会は今年



指導を受けながら滑りを楽しむ参加者

で22回目を数え、六戸町から33名、本村から40名の児童や保護者が参加し、スキーやスノーボードで親睦を深めました。参加者は4つのグループに分かれ、くのへスキースノーボードスクールの指導の下、白銀の世界に包まれたグレンデを満喫していました。

宝くじ助成で虎装束を整備

二ツ家虎舞連中では平成27年度、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、虎舞に必要な装束などを整備しました。

同事業では、宝くじの収益をもとに、コミュニティ活動などに必要な施設や設備の整備に対して助成を行っています。

コミュニティ助成を活用し整備した虎（右）と手平がね



わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆



ぶんた
真下 文太くん

3月21日生まれ／長男／泥の木
(父)浩二さん(母)薫さん

「思いやりのある子に育ってね」
パパ・ママより

◎4月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! 希望する人は3月11日(金)までに、写真(データも可)を広報担当(☎42-2111内線168)までお持ちください。

友達の輪 ⑫



中村福憲さん(中)と長女・ふみさん(左・12歳)と次女・みわさん(11歳)

なかむら
中村 福憲さん
48歳・ニツ家

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

大型トラックの運転手として約30年働いていて、海や山など自然を愛する中村福憲さんを紹介します。

◆趣味・特技は？ 山菜採りが趣味で、春にはタラの芽、秋にはマツナケなどを採ることが好き。

◆休みの日は？ 子どもの頃から毎年10回ぐらい海や川へ釣りに行っている。

◆一番熱中していることは？ 半年前、念願だった83cmの真鯛を釣り上げ、さらに大きいものを狙いたい。

◆将来の夢は？ 退職したら家族一緒に、釣りや山菜採りに出掛けたい。

むらの文芸

第334回 くのへ俳句会

菅野 岑子

着ぶくれを気にせぬ齢かなしとも

咲く力小さくありて返り花

大冬木空掴むかに枝広げ

ゆるやかに病状癒ゆる雑煮餅

冬部 雪女

心にも三寒四温ありにけり

脈々と受け継がれけり雪納豆

不器用に生きるも性や冬芽立つ

大型店ドカンと落成冬晴るる

また一軒あき家となりし余寒かな

高島 小み女

まっか
眞下 義實さん
昭和3年12月13日生 87歳(山根)



20代から75歳まで葉タバコ生産を事業としてきた眞下さん。現在は山根老人クラブの会長も務めています。

◆元気の秘けつは？ 好き嫌いせず、何でも食べることが元気の秘けつ。

◆毎日心掛けていることは？ 冬は毎日40分ぐらい散歩をしている。夏は2年前まで夫婦で水稲栽培をしていた。

◆一番の楽しみは？ 戸田へ毎週、薬湯に入りに行くのが楽しみ。好きなカラオケも毎回のようになっている。

◆一番の思い出は？ 健康で稼ぐことができ、長生きできていることが幸せ。

元気スマイル ⑫

二人して三日もつくおでん鍋

館村 青村

碧天に冬芽膨らむ大樹かな

寒林や謎を秘めたる塚一基

狛犬の雪を被りし阿吽かな

凍て星や人は眠りて夢を見し

産土に生きて傘寿の春立てり

【一月席題詠より】

妙薬は俳句づくりや冬籠り (雪女)

どか雪や二度あることは三度あり

綾取りの一つ覚えや冬籠り (ふみ女)

二度三度除雪車通る夜明け前

着ぶくれして季語となりたる己かな (義也)

二度三度聞き返す度マスク取り

句友より貰う元氣や初句会 (青村)

二度三度雪を掻きたる一日かな



いじめのない「安心づくり」を目指して

村いじめ問題対策連絡協議会が本年度新たに設立され、1月28日に公民館会議室で初会合が開かれました。会議には村内小中学校長、



いじめ防止の取り組みについて情報交換する参加者

法務・警察・福祉などの関係機関から17名が出席。いじめ問題について日頃から情報共有体制を構築しようと、学校や村教育委員会などが議論を深めました。

情報交換では、児童会や生徒会における、いじめ防止のための具体的な取り組みについて、各小中学校から情報提供があり、これについて関係機関からも意見が出され、活発な協議となりました。

次のリーダーを目指して

ジュニアリーダー研修会は1月30日と31日、県北青少年の家で開催され、村内から小学5年生25名が参加しました。

研修会は5班に分かれて、「20年後、私が村長になったら」を題材にグループディスカッションを実施。「にぎやかで明るい九戸村にしたい。特産品や自然を生かして、人口減少やごみ問題を



自分が村長になったら「どのような九戸村にしたいか」意見発表する小学5年生

なくしたい」など、活発な意見が出されました。

2016 希望郷いわて国体

実行委員が冬季国体視察

国体10月開催に向け意識高める
来場者への対応や清掃・美化のほか福祉席の設置、ひつ

希望郷いわて国体九戸村実行委員会では1月30日、盛岡市で開催された岩手国体冬季大会のスケートとアイスホッケーの競



10月2日の軟式野球競技開催に向け視察を行った村実行委員

キャップアート大作戦

国体 200 日前イベント
こくち、を作ろう

3月21日開催

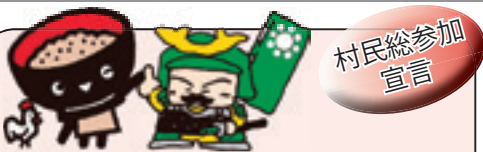
※ 詳細は後日のチラシで



キャップ集めにご協力ください

学校で… 会社で…
家族で…

■教育委員会事務局まで届けてください。



村民総参加宣言

2016 希望郷 いわて国体

平成28年10月2日(日)
ナインズ球場で軟式野球競技を開催

“そばっち”のポーズ練習中

子ども映画会=2月7日、映画会に参加した子どもたちから“そばっち”のポーズを練習してもらいました



「お・も・て・な・し」の心で歓迎!

「九戸村婦人のつどい」参加者の皆さん11月17日、国体に向けた講演会後に講師の林晶子先生(前列左から7番目・盛岡つなぎ温泉四季亭専務取締役)を囲んで



つみの振る舞いなどの様子を確認。選手用の弁当を購入して食べてみるなど、国体の雰囲気や自分の目で見て感じ、軟式野球競技会開催の意識を高めました。

新年の決意をしたためる

九戸中学校では冬休みの課題として、生徒会が主催となり書き初め大会を行いました。

書き初めにおいては、「新年に向けて新たな目標を持ち、書き初めに思いを込める。書き初めを提示することによって、目標達成に向けての意識を高める」というテーマを掲げ、全校生徒145名

が取り組みました。実際に書く文字は指定せず、全校生徒が各自言葉を選び、新



新年の目標を書き表した、全校生徒の作品

年の目標を一言でしたためました。

思いが込められた作品は、冬休み明けに本校1階廊下

伊保内高校 卒業生に贈る言葉

3 学年長 西館 智香子

次に挙げるのは福澤諭吉を評価する3人の意見です。

A 「福澤諭吉ってすごい」

B 「福澤諭吉ってすごい。慶應義塾大学を創設した人

に掲示しました。生徒はお互いの書き初めを見合い、それぞれの目標に向けて意識を高めていました。

(副校長 野田 寛)

だよ」

C 「福澤諭吉ってすごい。中岡慎太郎が『日本を変えてやる』と騒いでいた頃『次の時代は学問が必要になる』と言って慶應義塾大学を創設した人だよ」

3人の意見の説得力、有用性の差は知識の差です。多くの場面で求められるコミュニケーション能力、すなわち議論できる力。土台

にあるのはやはり知識です。仕事において「知らない」は不利です。「知らない」は想像以上に損をして楽しさを半減させます。

身に付けた知識は誰にも奪われることなく、その一つ一つが力となり自分を支えてくれます。その知識に「心」が加わることで周囲の人たちも支えていける大人になるのだと思います。

伊保内高校で培った「くじけない心・諦めない心・やり遂げる心・思いやる心」を持ち、自分の人生をたくましく歩んでいってください。

Books ❖ 今月のおすすめ図書

流

東山 彰良 著／講談社



1975年、台北。偉大なる大統領の死の直後、愛すべき祖父が殺された。

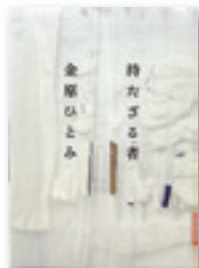
17歳。無軌道に生きる私には、まだその意味は分からなかった。大陸から台湾、そして日本へ。歴史に刻まれた、一家のろうと決断の軌跡。第153回直木賞受賞作。

持たざる者

金原 ひとみ 著／集英社

「蛇とピアス」から10年。金原ひとみの長編作。思いがけない事故や事件。その一瞬でねじ曲がる。平穏な日常が、約束された未来が…。

他者と自分、世界と自分。絡まり合う4者の思いを描く。



考え方ひとつで人生は変わる

稲盛 和夫 著／PHP 研究所



受験に失敗し、結核にかり、やっと入社した会社はつぶれかけ…。挫折と苦悩の青春時代を越えて、「京セラ」「KDDI」をつくり、「JAL」の再生も果たした！希代の名経営者が仕事と人生で一番大切にすべきことを、未来を担う若い人に熱く語る。

うそ

中川 ひろたか 著／金の星社

人はなぜ嘘をつくんだろう？叱られるのが怖くて？それとも自分をよく見せるため？

嘘をつくことはいけないことだけど、嘘をつかない人なんているかなあ？子どもと一緒に嘘について考える絵本。



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始

健康寿命を延ばす生活習慣

平均寿命は、男性が80歳、女性が86歳と伸びてきています。

それに対して健康寿命は、平均寿命に比べてぐっと短く、男性は70歳、女性は74歳となっています。『健康寿命』は日常生活などが自分で行え、不自由をしないで過ごせる健康的な状態を言います。つまり、男性は「日常生活などに不自由して生きる時間」が約10年、女性の場合は12年以上になるわけです。

不自由になる原因もさまざまです。多くの場合、生活習慣病と言われる高血圧症、糖尿病、脳卒中、がんなどによることから、日々の生活を見直す時期が早いほど、健康寿命を延ばせる可能性も高くなります。

今からでも遅くはないので、以下の事に気を付けて健康寿命を伸ばしましょう。



■ 禁煙

たばこは百害あって一利なしと言われています。喫煙している人のそばにいる人にも害を及ぼしてしまいます。禁煙できない時は、人のいる所で吸わないように心掛けましょう。

■ 病気の早期発見と早期治療

病気を早期に発見して治療に取り組めば、回復する可能性がとて高くなります。毎年健康診断を受け早期発見に努めましょう。

■ 規則正しい食生活

食事が全ての基礎です。野菜類を多めに、肉類を控えめにし、バランスよく取ります。食事の時間にも気を付けましょう。

■ 適度な運動

無理な運動は必要ありません。日常的に散歩のような軽い運動をしましょう。

■ 心にも栄養を

周囲の人との関わりを大切に、趣味を持つようにしましょう。

(保健師 及川 洋子)

後期高齢者保険料の納め忘れはありませんか？

後期高齢者医療保険料は、この制度に加入している人が病気やけがをしたときの医療給付の財源となります。後期高齢者医療保険料の健全な運営のため、保険料は納期内に必ず納めましょう。

■ 納付が困難なときは相談を

事情があつて保険料の納付が困難なときは、役場税務会計課に相談ください。来庁が困難な人は電話相談にも応じます。

また、村では保険料の確保のため、滞納保険料の徴収に取り組んでいます。

訪問する村職員は、必ず身分証明書を持っていますし、保険料の支払いにATM（金融機関の現金自動預払機）は使用しません。不審な電話などに注意してください。

■ 保険料を滞納し続けると…

保険料を滞納した場合、督促状が送付されます。督促状が送付されると督促手数料を加えて保険料を納めることになります。また、

公平性を保つため延滞金も発生し、これも納めなければなりません。

特別な事情がなく保険料を滞納し納付相談にも応じない人に対しては、次のような措置を取ります。

● 短期被保険者証の交付
有効期間が短い被保険者証が交付されます。

● 被保険者資格証明書の交付
特別な事情がなく1年以上滞納している人は、被保険者証を返還していただき、代わりに被保険者資格証明書を交付することになります。（診療費は、いったん全て自分で負担することになります）

● 医療給付の制限
特別な事情がなく、さらに保険料の滞納が続くと、医療給付の一部または全部を差し止めることがあります。

◎ 滞納処分

保険料を納付する意思がない場合や納付相談にも応じていただけない場合には、法令に基づく滞納処分として、預貯金・給料・不動産などの財産の差し押さえや公売手続きなどの処分を行います。

納付が先送りされる学生納付特例

20歳以上の人は学生でも国民年金に加入しなければなりません。

しかし、学生の人は申請によって国民年金保険料の納付が猶予(先送り)される「学生納付特例制度」があります。保険料を納められないうちはそのままにせず、学生納付特例を申請しましょう。

学生納付特例の申請は、4月から翌年3月の1年間ですが、2年

1カ月前までの期間についてさかのぼって申請できます。

なお、承認された期間は老齢基礎年金を受け取るために必要な期間に算入されますが、年金額には反映されません。その後、将来受け取る年金を増額するため、10年以内に保険料を納めることができ「追納制度」を利用されることをお勧めします。

消防署だより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

住宅用火災警報機は正しく作動しますか？

住宅用火災警報器を正しく作動させるため、日頃から点検を行うようにしましょう。警報機本体の交換目安は約10年です。

平成24年から26年まで3年間で、火災による死者は3分の2、損害額も2分の1まで減少しています。

まだ設置していない人は自分や家族の生命、財産を守るために必ず設置しましょう。



村内の火災・救急 (1月分)

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	1件	1件	+1件
救急	28件	28件	+3件

犯罪被害から子どもを守ろう！

■声掛け事案は「犯罪の煎ぶれ」

平成27年中、県警察に寄せられた子どもに対する声掛け事案の情報は322件(前年比28件の増加)で、そのうち147件が小学生を対象としたものでした。

声掛け事案の多くは下校時間帯の通学路で発生しています。

■不審者情報を知ろう

県警察のウェブページでは、パソコンや携帯電話からアクセスして、県内で発生した声掛け事案に関する情報を確認することができます。

事案の発生日時、場所、行為の内容などを知ることができますので、子どもの安全対策の第一歩として活用ください。検索サイトで「岩手県警察」と検索するとアクセスすることができます。

■合言葉「いかのおすし」

知らない人について「いか」ない
知らない人の車に「の」らない
「お」お声を出す
「す」ぐ逃げる
何かあったらすぐに「し」らせる

【保護者の皆さまへ】

●登下校はできるだけ複数で行動させ、外出時には必ず行き先を確認しましょう。

●通学路に姿を見せて、登下校中の子どもを見守りましょう。

●防犯ブザーの正しい使い方や「子ども110番の家」の活用を教えます。

※不審者を見つけたら、声掛け事案にあつたときは、すぐに警察へ通報しましょう。



村内の交通事故 (1月分)

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	0件	±0件
物損事故	10件	10件	-4件
負傷者	0人	0人	±0人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転 検挙者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数…… 479日
(1月31日現在)



権利擁護セミナー 講演や講談で紹介

権利擁護や成年後見制度について、講演や講談にて無料で分かりやすく紹介します。

■日時 3月16日(水)

午後1時30分～午後4時

■場所 二戸市民文化会館

■内容

○講演「地域力に助けられた後見人の死後事務～最期の別れの場面を通じて感じたこと」

講師：成年後見人 小野寺幸司氏

○報告「二戸地域における権利擁護の現状について」

○講談「講談で知る成年後見制度」

■問い合わせ NPO 法人カシオペア権利擁護支援センター (☎ 090-2979-9031)

ありがとうございます

ふるさと納税

先日、ふるさと納税として5名の方から寄付をいただきました。

寄付金は、住みよい村づくりのために大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



- ◆小野寺健一 様 金一封
- ◆松野 幸悦 様 20,000円
- ◆任海 ユリ 様 20,000円
- ◆下村 博美 様 50,000円
- ◆鈴木 一雄 様 30,000円

求人情報

■農事組合法人 九戸協業養豚組合

- ①養豚作業員（正社員以外）
- ②九戸村③不問④208,000円～247,000円⑤普通自動車免許一種、雇用期間：採用日～2カ月

■株式会社 松本鶏園 九戸卵卵場

- ①孵化業務作業員（正社員）②九戸村③59歳以下④210,000円～215,000円⑤中型自動車免許一種、試用期間3カ月

■株式会社 十文字チキンカンパニー

- ①大工（正社員）②九戸村③59歳以下④160,000円～240,000円⑤普通自動車免許一種、大工経験者、試用期間3カ月、日給月給

■いわて県北クリーン 株式会社

- ①事務員（正社員）②九戸村③60歳以下④125,000円⑤普通自動車免許一種、パソコン操作（ワード・エクセル）、試用期間3カ月

■理美容室 e s 二戸店

- ①美容師（正社員）②二戸市③59歳以下④134,000円～250,000円⑤美容師免許、試用期間3カ月

①職種②就業場所③年齢④基本給⑤資格など

◎2月15日現在の求人情報から掲載しています。求人に関するお問い合わせは、ハローワーク二戸(☎ 23-3341)まで。求人情報は役場口ビーでも配布しています。

休日当番医 (9:00～17:00)

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話	月	日	医療機関	電話
3	6	川村医院	23-3252	3	6	国香歯科医院	23-2223
	13	いちの内内科クリニック	33-2701		13	阿部歯科クリニック	25-4182
	20	齋藤産婦人科医院	23-2505		20	関歯科医院	38-2937
	21	藤田内科	38-2772		21	曾根歯科医院	27-3108
	27	ふくもりたこどもクリニック	43-3137		27	渡辺歯科医院	23-2052

ごみ収集日 3月

収集区域	瀬戸内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸田上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	3月1日(水)	3月7日(木)	3月14日(金)
空き缶	3月15日(水)	3月22日(木)	3月28日(金)
粗大ごみ			3月8日(水)
紙・プラ類	3月10日(水)	3月16日(水)	3月24日(水)

※ 指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎ 住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123



年金見込み額など 年金相談会を開催

年金相談会を開催します。

- 日時 3月18日(金)
午前10時～午後3時
- 場所 村山村開発センター
- 持参 年金手帳など基礎年金番号が分かるもの、本人確認ができる免許証や保険証など
- 相談内容 年金の受給や年金見込み額、年金免除の手続きなど
- 問い合わせ 二戸年金事務所(☎23-4111)、住民生活課国保住民班(☎42-2111 内線211)

国家公務員試験 税務職員を募集

仙台国税局では、税務職員を募集しています。

- 【大学卒業程度】
- 受付期間 インターネット申込：4月1日(金)～13日(水)／郵送・持参申込：4月1日(金)～4日(日)
- 第1次試験日 5月29日(日)
- 【高校卒業程度】
- 受付期間 6月下旬
- 第1次試験日 9月上旬
- 問い合わせ 仙台国税局人事第二課(☎022-263-1111 内線3236)

編集後記

◆久しぶりに掲載した特集記事。読書離れの内容はいかがでしたか？
◆私は先日、携帯電話を誤って紛失してしまいました。しかし、4日後には無事発見できて一安心しています。◆携帯電話やテレビの時間が多い人もいると思いますが、本を手に取り読書の時間も大切にしたいものです(下村)

犬の飼い方、マナー を守りましょう

犬の飼い主さんは、犬の飼い方、マナーを守っていますか？

「犬を放し飼いでいる。道路に犬のフンがある。フンを川に捨てている」などたくさんの苦情が寄せられています。飼い主さんは、他人に迷惑を掛けないよう責任を持って管理しましょう。

- 問い合わせ 住民生活課保健衛生班(☎42-2111 内線123)

3月1日～7日 建築物防災週間

3月1日から7日まで、建築物防災週間を実施します。

この週間は、地震、火災、がけ崩れなど各種災害による人命および建築物の被害を防止し、安心して生活ができる空間を確保するため、県民に対し建築物に関する防災知識の普及に努めます。

また、防災・維持保全関係法令の周知徹底を図ることにより、建築物の防災対策を推進することを目的としています。

この週間中、防災相談所を下記の場合に設置しますので、ぜひご利用ください。

- 防災相談所 県北広域振興局土木部二戸土木センター(☎23-9209)

お詫びと訂正

広報くのへ2月号11ページ「公衆衛生功労者」の記事で、菅原ミセさんの村食生活改善推進員協議会会員の在職期間は、「昭和60年から31年間」の誤りでした。お詫びして訂正します。

人のうごき

(平成28年2月1日現在)

- 人口 6,145人 (－8)
- 男 2,961人 (－8)
- 女 3,184人 (±0)
- 世帯数 2,162世帯 (－4)

(カッコ内は前月比)

- 転入 8人 (8人)
- 転出 9人 (9人)
- 出生 5人 (5人)
- 死亡 12人 (12人)

(カッコ内は1月からの累計)



あでやかな着物を着た女性8名が、南部よしゃれ節の唄に合わせて踊りました

舞踊研究会が40周年

芸は地域を変えられる
村の笑顔を創造

舞踊発表会（村舞踊研究会主催）が2月14日、HOZホールで開かれました。今年で40周年を迎え行われた、記念の舞踊発表会に500名以上が来場。

発表会は、漆原栄美子さんや小田代直子さんなど豪華ゲストを招いて、26演目が披露されました。オープニングは歴代会長を務めた屋形場正藏さんと上村勝己さんが「ふるさとの歌」を、自分の持ち歌のように堂々と歌い上げ幕開けしました。続いて公民館学級の受講生たちが、「人生演歌だネ」を踊り、日頃の練習の成果を発表しました。

小学生の児童たちはあでやかな着物を身にまとい、沢内甚句を可愛らしく演じました。演目の途中、40周年を記念した餅まきも行われ、用意した多数の紅白餅があつという

間に振る舞われました。ステージ上で次々に披露される熟練の芸に、集まった多くの観衆からは温かい拍手が送られていました。

発表会の後には関係者125名が集まり、創立40周年記念の式典と祝賀会も開催。村舞踊研究会を長年支えてきた人や、功労があつた皆さんへ表彰状が贈られました。

村舞踊研究会は昭和50年に発足以来、「芸は地域を変えられる」をスローガンに活動を展開。結成当初は7名の会員でしたが、現在は18名となり活動の場を広げてきました。40年の長きにわたり会員相互が一致団結し、芸を磨き地域活性化を目指してきました。

集まった会員の皆さんは、40周年を祝うとともにさらなる会の発展を誓い合っていました。

40周年を記念し、来場者へ紅白餅が振る舞われました

公民館学級の受講生が人生演歌だネを披露

可愛らしく踊った沢内甚句

